

nouvelle Fontaine

発行日 2023年7月25日

発行 岸和田文化事業協会

〒596-0073 岸和田市岸城町5-10
岸和田市立自泉会館内

TEL/FAX 072-437-3801

Email: fontaine@sensyu.ne.jp

https://jisen.jp

岸和田におけるタイルの諸様相

大阪府ヘリテージマネージャー 山岡 邦章

岸和田で古いタイルを識別するのは非常に難しいです。まず有名なタイル製造会社として、淡陶社（現：ダントー）が海を渡って向かいの淡路島にあります。そして関西の近代建築で使われる泰山タイルが京都にあります。基本はその2大タイル会社が関西のタイルを席卷しているイメージですが、さらにわからなくしているのが、泉州・岸和田には煉瓦製造会社があり、実はタイルを焼いていたということです。

タイルというのは各社バラバラな点もあり、模倣・習作が行われ、そっくりなものが焼かれる場合もあります。また焼きムラが生じやすい加減から個体差もあり、見分けるのは一筋縄ではいかない存在です。もちろん、岸和田にあった岸和田煉瓦株式会社や貝塚の大阪窯業貝塚工場でもタイルを焼いており、そこで模倣・習作が行われると、もはや見分けがつかない存在なのです。実際に大阪窯業の貝塚工場跡地を歩くと、スクラッチの入ったタイル・煉瓦がみられます。ほかの焼き締めタイルも現地の祠などに使われており、自泉会館で使われているような施釉(せゆう)のタイルも焼かれていたことでしょう。

現在、自泉会館のタイルを調査していますが、建物にあるタイルの表面上を観察してもその産地はわからないのです。タイルの識別は基本は裏面の刻印・スタンプで行います。つまり剥がしてみないとわからないのがタイルの難しいところです。

しかし、同時期に渡辺節によって造られた綿業会館のタイルにヒントがあるのかも知れません。綿業会館の談話室にあるタイルタペストリーには、渡辺節がこだわった泰山タイルの窯変が使われたとされています。泰山タイルの特徴は1枚1枚の釉の発色が微妙に違い、それらをポリクロミー的に組み合わせ

せることによりタペストリー全体のバランスをとる仕上げ方をしています。自泉会館も同じ渡辺節の建物です。もしかしたら泰山タイルかもしれないと思わせる点ではあります。ただ、自泉会館のタイルは泰山タイルの特徴である窯変的な変化に乏しく、発色は一定です。わかりやすく言えば「泰山タイルっぽくない」のです。ではどこのタイルが使われているのでしょうか。それを探す手始めに、淡路島の淡陶社（現：ダントー）に行きませんか。何か分かるかもしれません。

研修旅行 自泉会館の建物を探るタイル編

昭和7年竣工時の意匠をほぼ保持している自泉会館。玄関ホールや階段、ホール内の暖炉に貼り巡らされている装飾タイルの世界を知る旅に出かけましょう。

☉日程 2023年10月9日（月・祝）

☉行先 淡路島

（薫寿堂・Hotel & Resorts南淡路・）

（ダントータイル淡路島福良工場）

☉参加費 岸和田文化事業協会会員 6,000円

一般 7,000円

（1,000円は半年分(2023年10月～2024年3月)の
会費とさせていただきます。）

※参加費には、各入館料・昼食代・傷害保険料を含む

☉定員 35名

☉申込み開始日 8月3日（木）10時～

下記の事務所まで直接来館またはお電話でお申し込みください。
先着順・定員になり次第締め切り

☉問合せ先

岸和田文化事業協会 〒596-0073 岸和田市岸城町5-10 自泉会館内
TEL/FAX 072-437-3801 E-mail fontaine@sensyu.ne.jp





5月20日、令和5年度定時総会を開催しました。ご来賓3名、出席会員32名、委任状提出会員97名で開催し、齊藤会長、永野市長からの挨拶の後、議事が進行しました。本年は役員改選の年にあたり、事業計画（案）予算（案）と共に新役員についても審議され、すべての議案に承認をいただきました。

永野市長の「デジタル社会のなかでのリアル、生の文化の良さを」という言葉を大切に、今期も文化振興の寄与を使命としていきます。皆様のご協力・ご参加を心よりお願い申し上げます。

会長就任のごあいさつ

岸和田文化事業協会 会長

齊藤 憲子

前期より2年間引き続き、会長を拝命いたしました。

今期は自泉会館指定管理人として3年目に突入します。期当初に掲げた目標を達成するためには、理事の皆様・会員の皆様と共に、目標にもう一踏ん張りしなければと思っています。

新型コロナウイルス感染症の位置づけは5類へと移行しました。とは言えウイルスが無くなった訳ではありません。今後もできる限りの安全安心対策を取りながら運営して参ります。どうぞご協力のほど、よろしくお願いいたします。

令和5年・6年度役員名簿

理事 21名 監事2名

役職	部 会	氏 名
会 長		齊 藤 憲 子
副会長	企 画(舞台・宣伝部門)	角 野 芳 子
副会長	企 画(展示・宣伝部門)	小 島 恵
部会長	企 画(展示・宣伝部門)	西 念 秋 夫
	企 画(展示・宣伝部門)	坂 東 重 信
部会長	企 画(舞台・宣伝部門)	池 上 尚 里
	企 画(舞台・宣伝部門)	加 藤 くみ子
	企 画(舞台・宣伝部門)	佐 々 由佳里
	企 画(舞台・宣伝部門)	白 原 理 香
	企 画(舞台・宣伝部門)	セルバンテス堺 多恵
	企 画(舞台・宣伝部門)	反 甫 進
	企 画(舞台・宣伝部門)	寺 本 郁 子
	企 画(舞台・宣伝部門)	中 村 八千代
	企 画(舞台・宣伝部門)	藤 間 勘史卯
	企 画(舞台・宣伝部門)	宮 前 勝 代
	企 画(舞台・宣伝部門)	山 村 若代紀
部会長	広 報 (編 集 部 門)	小 末 もとえ
	広 報 (編 集 部 門)	小 木 曾 由 季
	広 報 (編 集 部 門)	黒 木 幸 子
部会長	広 報 (SNS 宣 伝 部 門)	大 津 谷 誠
	広 報 (SNS 宣 伝 部 門)	松 浪 心 込
監 事		近 江 和 代
監 事		本 郷 元 子

(各部会五十音順)

『熊沢友雄日記』

～岸和田藩士の暮らしをたどる～



嘉永五年(1852)から明治二十八年(1895)までの間記述された『熊沢友雄日記』。このページでは岸和田まつり関連の日記を抜粋しご紹介していきます。

※月日は新暦

明治十六年 (1883)

九月十五日 本日岸城の神社御例祭たるにより、旧により鏡餅二重(かさね)(各三升宛両社へ献す)、

祠官梶原担方マデ為持遺す

午後二時退庁より按内により参拝す

祭典已に(すでに)終に付

祠官宅にて直会を拝戴(はいたい)し、

畢(おえ)テ帰宅す

(前日皇女章子内親王死去歌舞音曲停止)

(①檀尻出ない)

十二月十二日 岸城神社旧祭日

明治十七年 (1884)

九月十四日 明十五日岸城神社宵宮なれども、時節柄檀尻をも不差出市中恰も(あたかも)平日の如し

九月十五日 氏神祭礼に付、例の通両社へ鏡餅壹重つつ(合て餅米六升)献供す

本日一旦②郡衙(ぐんが)へ出勤の上午前退庁、例に任せ氏神祭典に参会す、午後三時相済帰宅

本日祭日と雖も(いえども)檀尻を出さざると、

朝来の暴風雨により来客一も無之

夕刻、示談有之来りに付、設(しつらえ)の酒饌を出し之を接待す…③間違にて檀尻不出、…

①皇族の服喪につき祭礼中止



②郡の役所

③フェイクニュース

氏神様への鏡餅の奉納は、何度も日記に書かれています。一社に対し三升の鏡餅。現代の重さを調べてみると、三升の餅米は4.2～4.5kg。餅になると6kgほどになるそうです。ある店では、下の餅の直径が26cm、高さが12cmと紹介されていました。かなり大きな鏡餅ですね。

明治16年の皇族の服喪は、増宮章子内親王です。明治天皇の第4皇女(第7子)として明治16年1月16日に誕生しましたが、同年薨去しています。

Cultural Hot Spot In Kishiwada

岸和田の文化ホット情報

岸和田七宮詣
岸和田の神社を訪ねる ⑧

岸城神社



岸城神社は城下町の産土神社で、江戸時代主祭神の一柱「牛頭天皇（スサノオノミコトと同一視された）」に因んで、牛頭天王社あるいは御宮（おみや）と呼ばれました。明治維新後「岸城神社」と改名。名称は岸和田城内に鎮座することによりますが、役割的には「岸和田神社」と呼んだほうがわかりやすいです。

主祭神である天照皇大神は、城下町築造以前の昔から当地で祀られていたもので、素戔鳴尊は古く京都の祇園感神院（現：八坂神社）から勧請し、品陀別命はかつて当地が石清水八幡宮の荘園であったことによるものと考えられます。

江戸時代に入って岸和田の城下町が発達すると、祭神の中でも疫病退散に験のある牛頭天王が重要視されました。京都や大坂など人口が密集する都市部では、夏季を中心にしばしば疫病が流行しました。疫病の原因を怨霊や役神の仕業に求める考えは、御霊信仰と呼ばれます。城下町岸和田に牛頭天王が祀られるのは、このような当時の信仰に基づくものです。



7月15日と12月13日に行われる献湯式。拜殿の神事後、境内にて古釜で沸かした湯を束ねた笹をもって巫女が四方八方に打ち散らしお祓いを行います。

毎年6月30日に行われる「茅の輪くぐり」は、お正月から半年間知らずに犯した罪穢れを祓い清める神事です。

人形（ひとがた）に精神の不安や身体の不浄を託し、茅の輪をくぐるとともに愛宕神社にて鎮火祭を行い、人形を焼くことで色々な災害が起こるのを取り除きこれからの半年幸せに過ごせるよう祈祷しています。

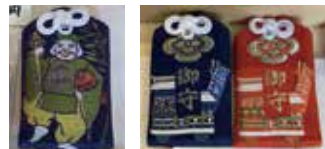


12月31日にも年末大祓式鎮火祭が行われ、1年間の罪や穢れをお祓いします。

新しくなった社務所（千亀殿）にある授与所での阪井宮司。こちらには、家内安全商売繁盛の戎さまやだんじり柄の御守などもあります。



岸城神社では、色々なご縁をお願いできます。恋愛のご縁を求める方は授与所で初穂料500円を納めると糸をいただくことができ、それを本殿にある「ちぎりの糸納所」に結びます。ご縁に恵まれたら男性は白の契り守り、女性は赤の契り守りを持って永遠の契りを祈るそうです。



この納所は、だんじり制作の吉為工務店とだんじりの彫り物をされている賢申堂さんが作られました。よくみると、正面の上には亀が彫られています。

9月14日に行われる宵宮祭。この日も献湯式が行われ、例大祭の無事執行を祈願します。翌日15日には例大祭が行われ、年中行事中もっとも重要な神事で御本殿の御扉を開け、通常は三方のところ高杯にてお供え物を捧げ、宮司も正服を着装して神事に臨みます。大祭式中宮司祝詞奏上後、雅楽生演奏によりお神楽を奉納します。以前は、岸和田祭は9月14日、15日でしたが現在は敬老の日直前の土日になりました。

9月14日に行われる宵宮祭。この日も献湯式が行われ、例大祭の無事執行を祈願します。翌日15日には例大祭が行われ、年中行事中もっとも重要な神事で御本殿の御扉を開け、通常は三方のところ高杯にてお供え物を捧げ、宮司も正服を着装して神事に臨みます。大祭式中宮司祝詞奏上後、雅楽生演奏によりお神楽を奉納します。以前は、岸和田祭は9月14日、15日でしたが現在は敬老の日直前の土日になりました。



御朱印

今回の岸城神社で岸和田七宮のご紹介は終わりです。これまでの記事が岸和田の神社を巡る参考になれば幸いです。

（取材：近江、小木曾）

<主祭神> 天照皇大(アマテラスオオミカミ)、素戔鳴尊(スサノオノミコト)、品陀別命(八幡神社)(ホンダワケノミコト)

岸城神社
岸和田市岸城町11-30 072-422-0686
<https://www.kishikijin.jp/>



泉州の 近代建築

vol.2

岸和田が誇る歴史。寺社仏閣や城下町はもちろん、趣ある近代建築も忘れてはなりません。その魅力や特徴を、大阪府ヘリテージマネージャーの山岡邦章氏にご紹介いただきます。

南海本線の文化財駅舎

南海電気鉄道 蛸地蔵駅西駅舎 編

大阪府ヘリテージマネージャー 山岡 邦章

南海蛸地蔵駅は岸和田城の南西に位置し、周辺には五風荘（昭和初期／岸和田市指定文化財）などの良質な近代建築が所在するとともに、古きよき岸和田の風情がのこる地域である。

蛸地蔵の駅名は駅舎から海側に下った場所にある天性寺（蛸地蔵）に由来する。かつて岸和田城に紀州勢が襲来したときに1人の大法師（地蔵尊の化身）と数千の蛸が城の危機を救ったとされ、この寺にその地蔵尊を安置したとする「蛸地蔵縁起絵巻」が伝えられる。

国登録有形文化財・蛸地蔵西駅舎は大正14年（1925）に建築された洋風建築駅舎である。南海沿線には、いくつかの洋風の駅舎が建てられたが現存は少ない。現存する浜寺公園駅西駅舎（明治40年）諏訪ノ森駅西駅舎（大正8年）は同じく登録有形文化財であり貴重な建築物である。

蛸地蔵西駅舎は小規模な木造平屋建てで、縦横約10m×5.5m程度の建物内に、コンコース・駅務室・炊事場・仮眠室が設けられている。外観は半切妻屋根を交差するように架けたスレート瓦葺の急勾配屋根と、妻面の屋根窓が特徴的であり軽快な印象をもつ。通常、平屋建の駅舎では、切妻

屋根を架けるなど抑揚の乏しいデザインになりがちである。西駅舎では急勾配の屋根を架けることで、平屋だが高さや軽やかさをもたせており、屋根の架構形状は機能的な意図のものではなく、外観デザインを優先させている。外壁は色モルタルかき落とし仕上げとし、内壁は漆喰の鍍仕上げで整えられている。そのほかエントランス

の天井に設置された灯具上部のレリーフ意匠などに、大正初期に流行するセセッション式の意匠を取り入れた装飾がみとれる。諏訪ノ森駅西駅舎と外観意匠が類似するが、諏訪ノ森駅西駅舎が屋根を和小屋組、基礎を石および煉瓦造にしているのに対し、本駅舎では屋根をトラス組とし、基礎はコンクリートにするなど、より新しい時代の技術を採り入れている。

南海沿線の明治後期から大正期に開設された駅舎のうち、辰野片岡建築事務所が設計した浜寺公園駅舎はハーフティンバーの外観（北歐風）を有し、一方南海鉄道施設部の設計と伝わる諏訪ノ森駅西駅舎は、蛸地蔵駅西駅舎とその外観意匠が似ており南欧風の建物である。この差異が時期差なのか規模なのかは検討が必要だが、南海鉄道施設部の設計による駅舎は、南欧風の意匠を用いる

ことで海岸線を通る鉄道沿線を明るいイメージで統一しようとしたのだろう。

駅舎は平成元年の改修で外壁の補修と屋根の葺替が行われた。この改修に合わせて、エントランスの上窓に駅舎の名前に由来する「蛸地蔵縁起絵巻」の一場面を表すステンドグラスがあしらわれた。

このように蛸地蔵駅西駅舎は、

大正から昭和初期にかけての良質な近代建築が数多く残る岸和田城下の歴史的な街並みにおける玄関口の一つとして、多くの人を迎え入れる駅舎である。建てられた当初よりおよそ100年、地域のランドマークとして親しまれる愛らしいデザインの近代建築である。





Ichigo-Ichien

未来へ向けて

自泉アーティストバンク（声楽）

加藤 真由子



私が岸和田市と深く関わりを持つようになったのは高校入学と同時にした。

大阪府立久米田高等学校が私の母校です。中学校は吹奏楽部に所属し高校も吹奏楽部かな？と思っていましたが、何故か気が付けば柔道部に入部。放課後は部活、夏は岸和田高校の柔道部と合宿で朝から練習三昧。岸和田高校近くの食堂に部員全員で夕ご飯を食べに行ってお米を食べつくし、夜はだんじりの走り込みを横目に商店街の銭湯へみんなで行ったことは本当に楽しい思い出です。在学中に黒帯を取りました。

そんな部活動と並行して大学は音楽系の大学に行きたいと音大を受験。大学が決まってからも自泉会館でコンサートの受付をお手伝いしながらプロとして活躍されている先輩方の演奏を聴き、私自身も大学卒業後に何度かコンサートに出演させて頂きました。

近年「二足の草鞋を履く」という言葉をとても考えるようになりました。私は結婚・出産と新しい人生のステージに立った時、考えていた予定は思い通りになりませんでした。

全て赤ちゃん中心の毎日、練習は子どものお昼寝中や子守歌でした。そんな中ですが産後二か月で舞台に立って歌い、その後もコンクールを受けました。今思えばハードでしたが、どんな方でも仕事・家庭での自分と沢山の草鞋を履いていると思います。

私も今から多くの音楽の草鞋を履くかもしれません。でもそれは大変な事ではなく、未来への挑戦と思いにしています。

音楽家として大切に思うこと

自泉アーティストバンク（ピアノ）

森本 美帆



私は2012年から2016年までハンガリーに留学していました。その後日本に完全帰国し、現在は演奏活動と指導に邁進しています。

留学中の4年間は技術だけでなく、演奏する心持ち・姿勢等、多くのことを学びました。

幼少期からコンクール・試験・演奏会と、多くの舞台を経験していく中で「人前で演奏すること＝ミスをしてはいけない」という心理が働くようになり、いつしか舞台上で演奏するのが怖くなりました。指が震え、緊張することで思う演奏ができず落ち込む・という負のループを繰り返すようになっていました。

そんな悪い流れがふっと断ち切れたのが、ハンガリーで演奏した時でした。お客さまは心から音楽を愛し「感動した！」と感じれば心からの拍手、そしてブラボーのお声掛けを未熟な私にも掛けてくださいました。

「人前で演奏するのってこんなに幸せな気持ちになるんだ！」と嬉しくなるとともに緊張することが少なくなり、思うような演奏ができ結果的にミスも減ってきました。演奏することの本質を、身をもって体感した瞬間でした。

現在は日本での演奏活動を続けていますが、お客さまとの距離も近くなり、演奏することがコミュニケーションの一環であるとより感じています。演奏を通して、大切なお客さまと様々な感情や情景を共有できる、そんな演奏家という仕事に誇りをもっています。

今は3歳の息子の子育てをしながらの活動で時間に追われていますが、息子がいるからこそ感じられる幸せを演奏に活かしつつ、さらに活動の幅を広げていけるよう今後も精進したいと思っています。

*岸和田文化事業協会は、自泉アーティストバンクをとおして若い芸術家を応援しています。

*一語一縁のページでは、会員の紹介に加え【未来へ ここから】と題し、自泉アーティストバンク登録者も紹介して行きます。

協会主催の事業にご来場いただき、有難うございました。アンケートにご協力頂いた方の感想を紹介させていただきます。

第70回自泉フレッシュコンサート

日時:令和5年4月21日(金) 午後6時30分開演
会場:岸和田市立自泉会館ホール
入場者数:58人



<皆さんの声>

- ◆演奏者の息遣いが聞こえるほどの音響が良かったです。
- ◆複数人での演奏会は、それぞれの個性のある演奏を聴くことができ、素敵な良い時間でした。
- ◆演奏が身近で聴くことができ素敵でした。今後も新人の発表の場を提供し続けてください。

第71回自泉フレッシュコンサート

日時:令和5年6月25日(日) 午後2時開演
会場:岸和田市立自泉会館ホール
入場者数:44人



<皆さんの声>

- ◆若い人たちが努力しているのを見てうれしく思いました。
- ◆出演者皆さんの心のこもった作品を届けようという気持ちが伝わりました。
- ◆若手演奏家の訓練場として有難いことと思います。今後もこんな機会を重ねてもらいたいと思いました。

岸和田城下町 七夕まつり2023

日時:七夕飾り(笹展示)
令和5年7月1日(土)~9日(日)
七夕まつりのお話
令和5年7月8日(土)午後7時
会場:岸和田市立自泉会館・屋外
参加者数:23人
(大人10人・子ども13人)



<皆さんの声>

- ◆七夕は、毎年イベント事だと思っていましたが、意味がわかりとてもおもしろかった。
- ◆短冊の色の意味を知らなかったので、次からも意味を考えて書きたいと思いました。
- ◆星座盤を使って星を見たかったです。星座盤でこんなことができるのだと知ることができました。

～サクソをもっと楽しく～ 『ハギーさんの魔法のレッスン』

日時:令和5年7月1日(土)
①サクソ奏者向け公開レッスン 午後4時~5時15分
②萩原隆サクソコンサート 午後6時開演
会場:岸和田市立自泉会館ホール
①レッスン参加者数:4人 聴衆者数:14人
②コンサート入場者数:57人



<皆さんの声>

- ◆誘われてきたのですが、こんなに近くで観る・聴くことができ、心が揺さぶられました。
- ◆素敵な建物と良い音楽、また開催してください。
- ◆ハギーさんと名倉さん、視線だけでソロの受け渡しをする。Jazzの良いところですね。

文化情報

- ◆夏休み子どもまつり in なみきり
人形劇団クラルテ「11ぴきのねことあほうどり」
日時:令和5年8月5日(土) 午後2時開演
会場:南海浪切ホール大ホール
チケット:大人(中学生以上):2,500円
子ども(3歳以上~小学生):1,000円
※3歳未満ひざ上鑑賞無料
(大人1名につき子ども1名)
ただし、座席が必要な場合は有料
- ◆公演前には大ホール・ホワイエにて、
楽しいワークショップを開催!
(ワークショップ参加費無料・要事前申込)



お願い 岸和田文化事業協会では取り上げてみてはどうかと思われるコンサートや展示会がございましたら、ぜひ事務所まで案を届けてください。今後の参考にさせていただきます。

お知らせ

会員の方は8面に文化情報を掲載することができます。掲載希望の方は事務所までお越しいただき用紙にご記入ください。多数希望の方がいらっしゃる、当協会主催の事業がたくさんあるなど、ご希望に添えない場合がございます。ご了承ください。

※自泉会館をご利用の際は、手指の消毒、マスクの着用等、新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください。

●第9回自泉Re.フレッシュコンサート
～Special～ 令和～平成～昭和を歌う

日時:令和5年8月6日(日) 午後2時開演
会場:岸和田市立自泉会館ホール
出演者:角野 芳子 (ソプラノ)
吉岡 昌美 (ソプラノ)
大和 直美 (メゾソプラノ)
安枝まなみ (ピアノ)
チケット:会員前売1,000円(当日200円増)
一般前売1,200円(当日200円増)
定員:80名



●4 Pianists! ～4人のピアニストの魅力～

日時:令和5年9月23日(土・祝) 午後2時開演
会場:岸和田市立自泉会館ホール
出演者:ピアニスト 高木真実子
森本 美希
森本 美帆
原 由莉子
チケット:3,000円(当日500円増)
定員:100名



●第12回自泉ジュニアコンサート

日時:令和5年8月20日(日) 午後2時開演
会場:岸和田市立自泉会館ホール
出演者:7月22日のオーディションで選ばれた15名
入場無料:当日先着順
定員:100名

●第72回自泉フレッシュコンサート

日時:令和5年10月6日(金) 午後6時30分開演
会場:岸和田市立自泉会館ホール
出演者:福留あぐり (ピアノ)
山本 葉奈・西本 龍生 (ピアノデュオ)
廣瀬 紀衣 (フルート)
黒田 莉舞 (ソプラノ)
チケット:会員前売1,000円(当日200円増)
一般前売1,200円(当日200円増)
定員:100名

●3館合同事業「いいむろなおきパントマイムワークショップ
～見えないものが見える?!～」発表会

日時:令和5年8月26日(土) 午後2時開演
会場:マドカホール
出演者:いいむろなおきマイムカンパニー・ワークショップ参加者
チケット:前売500円(当日200円増) 3歳未満ひざ上鑑賞無料
※チケットについては3館で販売中
定員:200名

●「第7回自泉クリスマス会 第九を歌おう!」
合唱ワークショップ参加者募集

募集人数:30名
参加費:5,000円(楽譜別)
募集開始:8月4日(金)午前10時～
電話にて申し込み(072-437-3801)
ワークショップ日程:
8月26日(土)、9月9日(土)、9月23日(土・祝)、10月14日(土)、
10月28日(土)、11月11日(土)、11月25日(土)、
12月2日(土)、12月9日(土) ※いずれも午後6時以降の予定
◎ワークショップの成果発表会:12月16日(土) 午後2時
※いずれも会場は、岸和田市立自泉会館ホール



●松野 迅&植草ひろみ デュオコンサート

日時:令和5年9月2日(土) 午後2時開演
会場:岸和田市立自泉会館ホール
出演者:松野 迅 (ヴァイオリン)
植草ひろみ (チェロ)
チケット:3,000円(当日500円増)
定員:100名



●對馬健太郎ソロコンサート
～歌とピアノとハワイの女神～

日時:令和5年10月15日(日) 午後2時開演
会場:岸和田市立自泉会館ホール
出演者:對馬健太郎(ハワイアンシンガー)
栄福 満代・川合 幸世 姉妹(ゲストダンサー)
チケット:3,000円(当日500円増)
定員:100名

令和5年度(2023年度)(2023年4月～2024年3月)

会員募集

年会費 個人会員(1口) 2,000円 団体会員(1口) 5,000円
家族会員(1口) 1,000円 法人会員(1口) 10,000円
(個人会員の同居家族) 特別会員(1口) 50,000円

入会方法 協会事務局(自泉会館)で直接受付致します。
郵便振込の場合は 口座番号 00970-9-28145
加入者名 岸和田文化事業協会

詳しくは、岸和田文化事業協会事務局まで
TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

■チケット販売場所

岸和田市立自泉会館事務所

■申し込み・問い合わせ

岸和田文化事業協会事務局まで

〒596-0073 岸和田市岸城町 5-10 岸和田市立自泉会館

TEL/FAX 072-437-3801

E-mail fontaine@sensyu.ne.jp

※事業の詳細・チラシは、岸和田文化事業協会ホームページにも掲載しています。



vol.79

発行:岸和田文化事業協会

発行日:2023年7月25日

編集後記...

季節は暑～い夏!夏!夏!ですが、当協会の事業も熱いです。
参加型事業・鑑賞事業など、選り取り見取りでご用意してお
ります。是非ご参加を! (黒木)

◆事務局
〒596-0073
岸和田市岸城町5-10 岸和田市立自泉会館内
TEL/FAX 072-437-3801
Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

◆編集委員 小末もとえ・小木首由季・黒木幸子
協力 近江和代・本郷元子・山村若代紀

https://jisen.jp



岸和田文化事業協会

検索

